

第2版

地域活動における

新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン

社会福祉法人 港区社会福祉協議会

令和2年6月に『地域活動における新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン』を作成し、10・11月には、港区感染症アドバイザーによる研修も開催しました。

今回、新たに第2版を作成しましたので、今後も安全に地域活動をするための参考にしていただければと思います。

マスクをつけていることが
濃厚接触者にならないポイント！

濃厚接触者の定義

新型コロナウイルス感染者と「発症した日の2日前」から、「発症後約7～10日間」の間に、マスクをせずに「1メートル以内かつ15分以上対面での会話」をした場合

感染経路（3つの感染経路）

- ①飛沫感染：しゃべったり、歌ったり、咳やくしゃみをするときに、鼻や口から出る飛沫を顔に浴びたり、吸い込んだりして起こる感染。
対策は、マスクをつける・ソーシャルディスタンスをとる。
- ②接触感染：ウイルスで汚染された物品に触れた手で、目・鼻・口などの粘膜に触れることで起こる感染。対策は、手洗い・触ったものを消毒する。
- ③空気感染：空気中に浮遊したウイルスを含む、小さな飛沫や粒子を吸い込むことで起こる感染。対策は、3密（密閉・密集・密接）を避ける・換気をする。

飛沫感染と接触、そして換気。この3つの対策をしっかりと行うことで、感染リスクを大幅に減らすことができます。
意識して対策をしましょう。



☆基本的な感染対策



マスクの着用をする

- ・ **マスクをせずにおしゃべり**をすると、感染が広まってしまいます。食べる時、お茶を飲む時、歌う時などは気をつけましょう。
- ・ くしゃみや咳をするときは、**マスクをしていても咳エチケット**を守り、**飛沫が飛ばないように口元を覆い**ましょう。



まめに手洗い・手指消毒をする

- ・ 石けんやハンドソープで **10秒**もみ洗い後、流水で **15秒**かけてすすぎましょう。 **2回くり返すと効果UP!**
(手洗い後の手指消毒は必要ありません。)
- ・ 外から室内に入ったとき、食事の前、トイレの後など **まめに手洗い**をしましょう。
- ・ 手洗いがすぐにできない場合は、アルコール消毒液での手指消毒も有効です。



身のまわりを清潔にする

- ・ 机やイス、手すり、ドアノブ、スイッチなど、よく触るところは消毒液（アルコールなど）を吹きかけ、紙ナプキンなどで拭きましょう。
(噴霧するだけでは効果が薄れるので、**必ず拭きあげる**。)
- ・ **消毒の前と後は、手洗い**を忘れずに。
- ・ 消毒や除菌効果をうたう商品は、目的に合ったものを正しく選びましょう。

日常的な消毒は、洗剤（界面活性剤）でOKです。



※ 最新の新型コロナウイルスの感染症情報を把握し、効果的な感染対策を行きましょう。

💡事前に確認・注意すること

- 公共施設を利用する場合は、**最新の定員制限や注意事項**を守る。
参加者が多いと、会場の都合によって参加できない可能性があることを事前に伝えておく。
- 活動内容も感染予防の工夫をする。
(例)・人との接触が多い運動や、飛沫が飛ぶような活動は控える。
 - ・大声を出さなくてもいいように、マイクやホワイトボードを使う。
 - ・オンラインツールを活用する。
- 外部講師を依頼する場合は、感染対策の協力を得て活動する。
- 飲み物は各自持参するか、一人1本ずつ用意する。お菓子を出す場合は、個包装のものを用意する。



☆当日みんなで気をつけること

- 混雑をさけて移動する。
- 名簿（名前、連絡先、住所）を残しておく。
 - ・既に連絡先を把握している場合は、名前の控えのみでも可。
 - ・公共施設などでは、名簿の提出を求められることがあります。
筆記具の使いまわしに注意！
- お茶などを配膳・下膳する場合は、**手洗い**もしくは**手指消毒**をし、**マスクを装着**して、少人数で行う。
よく洗った食器（もしくは使い捨てのもの）を用意し、**口がつくところを触らない**ように注意して配膳・下膳する。
- 衛生管理について
 - ・身のまわりの消毒のほか、**荷物を床に置かないようにする**。
一度床に置いたかばんを触ったり、机に置いたりすることで、ウイルスが広がるおそれがあります。荷物置き用の机などを用意しておきましょう。

・ゴム手袋は作業ごとに
取り替えなければ、
かえって不衛生になります。



体調が悪い場合は、参加をやめましょう。

参加前には検温をし、熱がないか確認してください。

- 水分補給の声かけをする（脱水症状に気をつける）。
- 活動中でも必要に応じてまめに消毒を行い、
ソーシャルディスタンスの確認を促す。



「両手を広げて、距離を取りましょう！」と、
ソーシャルディスタンスを確認する声かけをしましょう。
感染対策をしながら、楽しい雰囲気づくりをすることが大切です！



- ゴミは各自持ち帰るか、他人のゴミに触らないようにまとめる。
- 施設のルールに従って、消毒・片付けを行う。



☆効果的な感染対策をし、
「過剰にならない」「負担にならない」ようにしましょう。
☆間違った情報による誤解に注意しましょう！
感染（濃厚接触）から回復した人や、感染症に立ち向かう
職種の人などを不当に差別したり、偏見を持たないように、
一人ひとりが心がけましょう。

【参考・引用】

- 厚生労働省 HP (<https://www.mhlw.go.jp/>)
- 港区 HP (<https://www.city.minato.tokyo.jp/>)
- 港区感染症アドバイザー 堀成美氏 研修資料より

港社協マスコットキャラクター

み～しゃ



【お問い合わせ】

社会福祉法人 港区社会福祉協議会 地域福祉係

☎ 03-6230-0281 FAX 03-6230-0285